

(別紙様式3)

令和7年度朝日町立朝日小学校学校関係者評価書

朝日町立朝日小学校 学校運営協議会

会長 海東 英郎

評価項目	評価
I 確かな学力の育成	どの学級も落ち着いて学習に取り組んでいる。特に少人数教育(算数)については、低学年はチームティーチングで、3～6年生は習熟度別で行われていて、学習の成果がみられる。引き続き、前年度の学習にも触れながら基礎的・基本的な学力の定着を図ってほしい。わからないことを表現できない児童にも気を配りながら個別最適な学びの実現に努めてほしい。
II 心の教育の推進	学校づくりアンケートの結果から、読書に取り組む児童の割合が増加しているのは望ましい。また、「いじめはしてはいけないことだ」と多くの児童が理解しているのはよいことである。しかし、頭で理解していても周りの人を傷つけてしまうことは多くの子に起こりうることなので、今後も、日常的に、児童が人間関係を学ぶ機会を大切にして指導して行ってほしい。
III 健康安全教育の推進	体育の授業の様子から、児童が自主的に整列し、準備運動も元気に行っていることから成長を感じ、先生方が適切に指導したことが表れている。給食についても、アレルギー対応だけでなく、個々に応じた指導がされている。食料品価格の高騰への対応は町と相談しながら、食育の推進をお願いしたい。
IV 保護者・地域とともにある学校づくり	学校運営協議会でつなぐことができた地域の人材を、特に家庭科の調理・裁縫実習の授業で活かすことができた。地域の方に携わっていただけで児童も嬉しいと聞いたが、関わる方々も児童とのふれあいの時間が楽しいと感じているようだ。来年度も地域資源を活かした取組を推進してほしい。
V 教職員の資質・能力の向上と働き方改革の実施	今年度の成果と課題を振り返り、教職員が働きやすい職場環境や、児童とじっくり向き合える体制の構築をしてほしい。そして、授業改善や工夫した授業づくりのための指導力向上を目指してほしい。

